

研修報告書 No.10

所 属： 昭和大学病院

研修先： 土佐市民病院

2023年10月から1か月間地域医療研修として高知県の土佐市民病院で研修を行いました。その期間で学び、感じたことについて報告いたします。

土佐市民病院を受診される方々はもともとかかりつけの方に加え、それぞれのお住まいの場所に近い診療所などからの紹介の方が多く、ご家族でこの先生にお世話になっていすたと話される患者さんも少なくありませんでした。そういったことは自分が普段勤務している首都圏の大学病院ではあまり遭遇した経験がなく、土佐市民病院はまさに地域医療の中心として非常に重要な位置づけにあるということを殊更に実感しました。一方で、隣の市町村など遠方から時間をかけて受診される方もおり、医療機関の偏在や医師不足があるという事実を痛感しました。そのため、地域の診療所や高齢者施設との連携が密であることも深く印象に残りました。

私が実際に研修を行った内容は主に外来や病棟業務、救急対応などです。内科外来診療は普段大学病院で研修している際は自分が担当することはこれまでなく、多様な主訴で来院される方々を適切に診療できるかはじめはとても緊張しました。さらに、普段救急外来で初診の患者さんに採血やCTなどの画像検査をオーダーすることはあっても、超音波検査や内視鏡、病理検査などをお願いしてその結果説明のために以降の自分の診察枠を予約するといったことは初めての経験でした。しかし、必ず上級医や看護師さんが親身になってバックアップしてくださり、どんな質問でも丁寧に説明してくださいました。先生方の手厚いサポートのおかげで徐々に、少しではありますがスムーズに診療できるようになったと感じます。

外科外来では術後のフォローや動物咬傷、農作業中の怪我の処置などを行いました。縫合などの処置を多く経験できたことに加え、内科外来と同じですが、フォローのため受傷日以降も外来で患者さんと定期的に会うことはこれまでなかったため、創部の治癒していく経過やどういった質問が処置後数週間のスパンで出てくるのか目にするのができ、非常に有意義でした。

病棟業務は、先の内科外来で私が入院と決めた患者さんを主に見るのですが、こちらも自分が主体となって上級医と一緒に方針を決め、治療していくという経験をするのができました。自らが入院とし、自らが経過の中で必要な検査を入れ、軽快し退院、紹介状を作成し近医に繋ぐところまで持って行くという一連の流れを研修医の段階で行えたことは来年以降のためにも大変勉強になりました。

高知の方々はどうなたもとても優しく気さくで、外から来た私を快く受け入れてください

ました。研修医という立場ではありますが、ひとりの医師として主体性や責任をもって多くのことを行うことができたのは先生方、スタッフの方々の心遣いのおかげです。今回高知県で地域医療に1か月間携われたことは何にも代えがたい経験で、今後の医療従事者人生の中で大きな財産になりました。今回の研修を支援いただきました土佐市民病院の方々、高知医療再生機構の方々すべての皆様にお礼申し上げます。ありがとうございました。